

さん・東雲自然科学部

環境保全で知事表彰

「地球温暖化防止活動推進連絡会丹波地域」の中心に出前環境教室を実施したり、レジ袋の有料化が始まる10年前からマシナリがバック持参運動を展開したりして、地球温暖化防止に対する関心を高め、環境保全功労者知事表彰を受けた。

「1人の力では限界がある。これまで仲間と一緒に活動できたことが何

より」と話す。ただ事情により同連絡会に所属する丹波篠山市民は、さん1人だけとなった。当面は丹波市の会員と一緒に丹波地域全体で活動を継続する。「1人なら1人なりの活動もある。温暖化防止活動の火は消さない。ぜひ一緒に活動を」と呼び掛けている。

部長(3年)

同自然科学部は、特定外来生物のウシガエルの駆除や、小学校や子ども会を対象にした生き物観察会を実施。またシカやイノシシによる農作物の被害対策研究にも取り組んでいる。

「地域の自然環境保全に貢献したと認められて良かった。後輩たちに取組みをつないでいきたい。受賞の知らせを聞いたときは、とても驚いた」と話していた。



「環境保全功労者知事表彰」を受けたさん(左端)と、篠山東雲高校自然科学部の3年生(丹波篠山市北新町)で

丹波新聞
2021年8月8日